

## 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

		要 旨
学位申請者	山岡 あゆち 【人間発達科学専攻 平成23年度生】	
論文題目	ネットを用いた仲間内攻撃行動の 予防要因に関する研究	<p>近年、インターネットの普及に伴い、児童・生徒間でのネットを用いた攻撃行動（以下ネット攻撃）が問題になっている。本論文では、児童・生徒の要因、家庭教育という外的要因、学校教育という外的要因という大きな3つの観点から、このネット攻撃の予防要因について、11個の実証的な研究を行った。実態調査以外は、2波もしくは3波のパネル調査の手法を用いて因果関係の推定を行った。</p> <p>本論文は、5章から構成され、第1章では、ネット攻撃に関する問題背景と、先行研究についてレビューを行った。</p> <p>第2章では、児童・生徒について扱った。メディアを使いこなすスキルである「ICTスキル」がネット攻撃を増加させる生起要因であることと、ネット上の対人行動における善悪判断である「ネチケット」という要因がネット攻撃を抑制する予防要因であることを示唆した。</p> <p>第3章では、家庭教育について扱った。予防要因としては、児童・生徒に尋ねた家庭におけるネット利用に関するルールや親子間の会話、フィルタリングの設定の3つの要因の抑制効果について検討したところ、部分的ではあったがネット攻撃の予防要因となることが示唆された。</p> <p>第4章では、学校教育について扱い、情報教員による情報教育及び学級担任による情報教育と生徒指導方針の効果などについて検討した。その結果、学級担任による生徒指導方針がネット攻撃及び非ネット攻撃を抑制する効果が見られた。</p> <p>第5章では、第2章から第4章の研究の結果について、総合的な議論を行った後、子どもの発達段階に留意しながらネット攻撃の予防策について述べた。</p>
審査委員	(主査) 教授 坂元 章	
	教授 石口 彰	
	教授 大森 美香	
	准教授 上原 泉	
	准教授 富士原 紀絵	